

第4回 湖南省健康こなん 21 計画・湖南省自殺対策計画策定委員会

次 第

日時 令和6年8月9日(金)午後2時～
場所 湖南省保健センター 1階多目的室

1. 開会

2. 議事
(議題)

第3次健康こなん 21 計画(素案)について

3. その他

4. 閉会

委員名簿

【任期:令和5年6月8日~令和7年3月31日】

区分		氏名	組織団体
学識経験者	1	安西 将也	龍谷大学
	2	船越 鈴代	健康づくり湖南推進協議会
医療関係者	3	芦田 健史	甲賀湖南歯科医師会
	4	藤井 要	甲賀湖南医師会
	5	本谷 研司	甲賀湖南医師会(精神科医)
保健福祉関係者	6	稲岡 真理子	甲賀地域活動栄養士会
	7	奥井 貴子	甲賀保健所
	8	横山 沙智世	湖南市健康推進員協議会
教育関係者	9	久米 紗理菜	湖南市小中学校養護教諭部会
	10	山下 秀文	湖南市スポーツ協会
労働関係者	11	高畑 友祐	湖南市工業会
農林関係者	12	岸田 英三	野菜ソムリエコミュニティ滋賀
湖南市地域代表者会議	13	小西 秀和	湖南工業団地北区 区長
公募委員	14	平木 愛	公募委員
	15	柴崎 寛子	公募委員

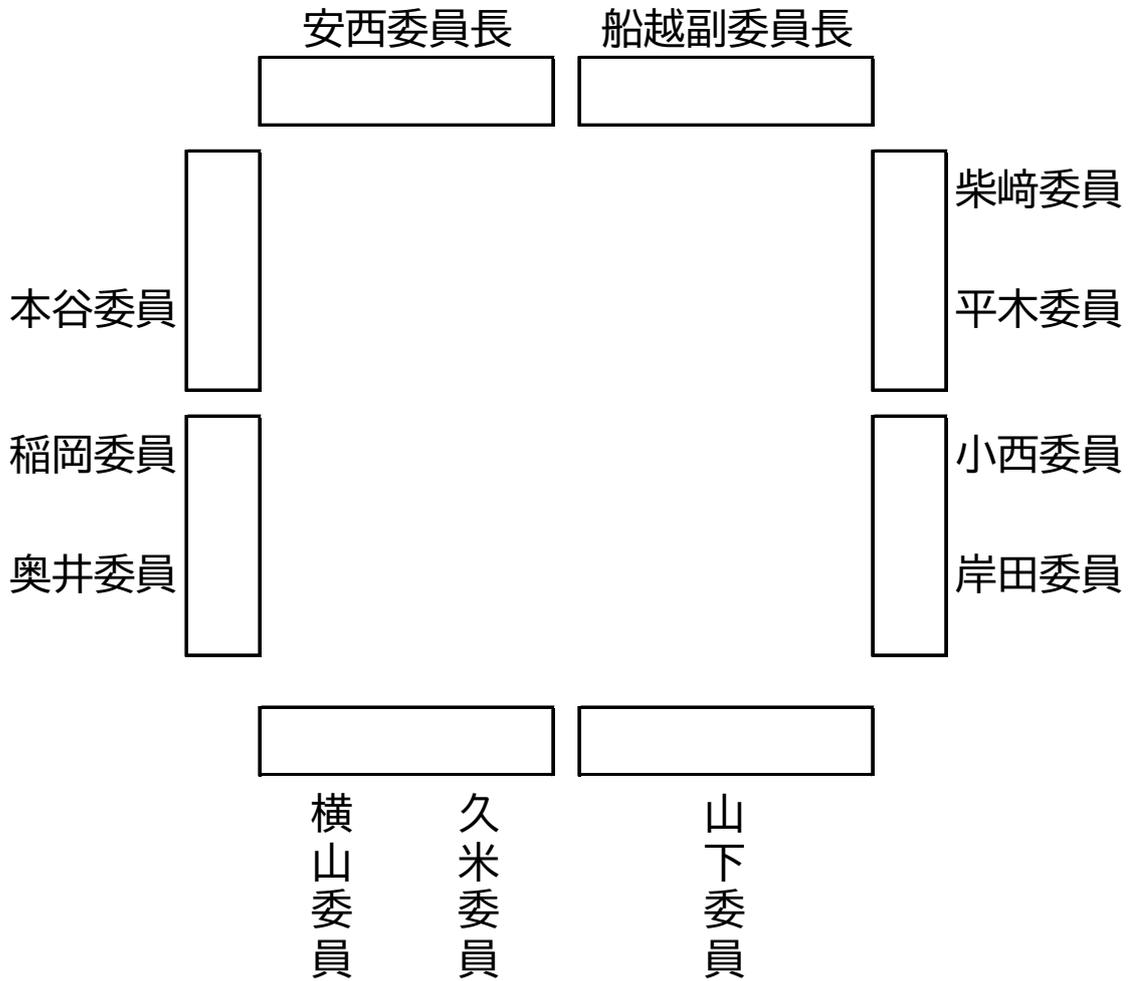
※久米委員は令和6年4月1日から就任

※名簿は湖南市健康こなん 21 計画策定委員会設置要綱第3条第2項に掲げる順

<事務局>

	所属	役職	氏名
1	健康福祉部	部長	奥村 良道
2	健康福祉部 地域包括ケア推進局	局長	川崎 知子
3	健康政策課	課長	鈴木 規子
4		主幹	宮島 繁
5		主幹 (管理栄養士)	東野 幸恵
6		主幹 (保健師)	川瀬 雅
7			金澤 敬子
8		保健師	杉原 佑美
9		主事	百田 明日香

配席図



(別紙)第3次健康こなん21計画・第2次自殺対策計画策定スケジュール

作業項目	令和5年度												令和6年度																		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月							
策定作業	策定方針の確認、検討																														
					現状把握と状況変化の分析																										
					達成状況等調査 課題の整理																										
									ヒアリング調査・分析																						
	アンケート内容決定		作成/配布/回収			分析																									
	<ul style="list-style-type: none"> 基本理念 将来像(全体目標:KPI設定) 計画体系/重点施策 など 								計画方針作成		方針調整		計画(素案)作成		検討・調整				計画(案)作成		計画書の印刷				計画の策定						
	施策内容の検討								施策立案 地区別調書作成等																						
体制と市民・事業者協働	策定委員会			第1回 ・基本的な考え方について ・アンケート調査票について				第2回 ・現行計画の効果検証 ・アンケート調査結果(速報)				第3回 ・アンケート調査結果 ・計画方針について				第4回 計画(素案)について				第5回 計画(最終案)について											
	委員公募		アンケート調査		ヒアリング調査		パブコメ																								
	市民への情報提供 意見募集など		広報(広報紙、ホームページなど)																												

第3次健康こなん 21 計画・第2次湖南省市自殺対策計画策定委員会(第4回)

事前意見・回答一覧

次の表に記載するページ数は、第3次健康こなん 21 計画(素案)のページ数です。

委員名	委員意見	事務局回答
委員	<p>「新たに追加した内容」について こなんマチイロの地区計画(第6章)について(感想)</p> <p>地区課題の分析と保健師ワークショップをもとに、ストーリー化して取組を推進するという考え方は、湖南省の独自性があるたいへん素晴らしいと思います。</p>	<p>本地区計画をもとに、地域に健康課題を共有し、「オールこなん」の取組を推進していきます。</p>
委員	<p>基本計画(第4章)について 「新たに追加した内容」の「自殺対策計画・・・事業内容」の検討にあたり、該当部分を中心に意見、提案します。ご検討ください。</p> <p>①P77 数値目標2つ目の表現は P178 の設問の表現に揃える。</p> <p>②P73,82 自殺未遂者支援事業は、湖南省と保健所がともに実施主体ですので記述を変更する。</p> <p>③P81 (4)妊産婦への支援の充実については、根拠となる現状の記述(なぜ妊産婦の支援を充実させる必要があるか)がないので、追加する。</p>	<p>①P77 に記載する数値目標「地域の人々とつながりが強いと思う人の割合」については、国の目標指標との整合をとっているため、P178 の「(4)地域の人々はお互い助け合っていると思うか」のアンケート分析の中に、下記の下線文章を補足します。 <u>数値目標「地域の人々とつながりが強いと思う人の割合」として、回答結果を使用しています。</u></p> <p>②ご意見のとおり変更します。 <input type="checkbox"/>変更箇所 P73◎自殺未遂者数 1行目 「甲賀保健所が実施している」を削除 P82 イメージ図 「自殺未遂者事業支援」を「自殺未遂者支援事業」に、「●甲賀保健所 ○健康政策課」に変更</p> <p>③ご意見のとおり追加します。P69～P76 の現状分析・課題として挿入します。</p>

<p>委員</p>	<p>1 平均寿命と健康寿命の差について 少し前まで(2~3年)この差は10年くらいあると言われていました。一気にこれだけ縮められたというのは考えにくく、統計の取り方が変わっていますか？</p>	<p>健康寿命の算定方法には、 ①介護保険の要介護 2~5 を不健康な状態と定義し、生命表とサリバ法を用いて算出(客観的指標) ②国民生活基礎調査の「あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか」の問いに対して「ある」と回答した者を不健康な状態と定義し、生命表とサリバ法を用いて算出(主観的指標)、の2つ方法があります。 滋賀県で策定している「健康いきいき 21-健康しが推進プラン-(第3次)」に記載されている滋賀県の健康寿命は下記のとおりです。 ①客観的指標 男性 81.07 歳(全国第2位) 女性 84.61 歳(全国第7位) ②主観的指標 男性 73.46 歳(全国第4位) 女性 74.44 歳(全国第46位) 国においては、②主観的指標により、また、滋賀県および市では①客観的指標により算定しているため、算定方法により乖離が生じています。</p>
<p>委員</p>	<p>2 ソーシャルキャピタルとかバックキャストイングとかカタカナ用語の意味がわかりにくいです。</p>	<p>市民目線によるわかりやすい表現を心がけておりますが、用語に関しましては説明文を記載すると逆にわかりにくい表現となるおそれがあります。そのため、P207 以降で用語集をつけておりますので、お手数ですがご確認ください。</p>

委員	<p>3 ここにはありませんが、中学校部活の地域移行ということが進められようとしています。これまで日本人の体力づくりに中学校部活の役割は大きかったと思います。教師の働き方改革、人員不足から民間ボランティアに移行しようとしています。民間人として仕事を持っていてそれ以上の活動となると長時間労働になります。そもそもそれを引き受けてくれる人材が確保できるかも疑問です。このことも健康づくりの一環として教育委員会だけに任せず、全体の議論が必要かと思っています。</p>	<p>第3期スポーツ推進計画において、学校部活動の地域移行に関して位置づけられています。</p> <p>第3次健康こなん 21 計画(素案)においては、P3「(3)総合計画等との整合」で、スポーツ推進計画との連携を図ることとしておりますので、所管課である文化スポーツ課にご意見を共有いたします。</p>
----	--	---